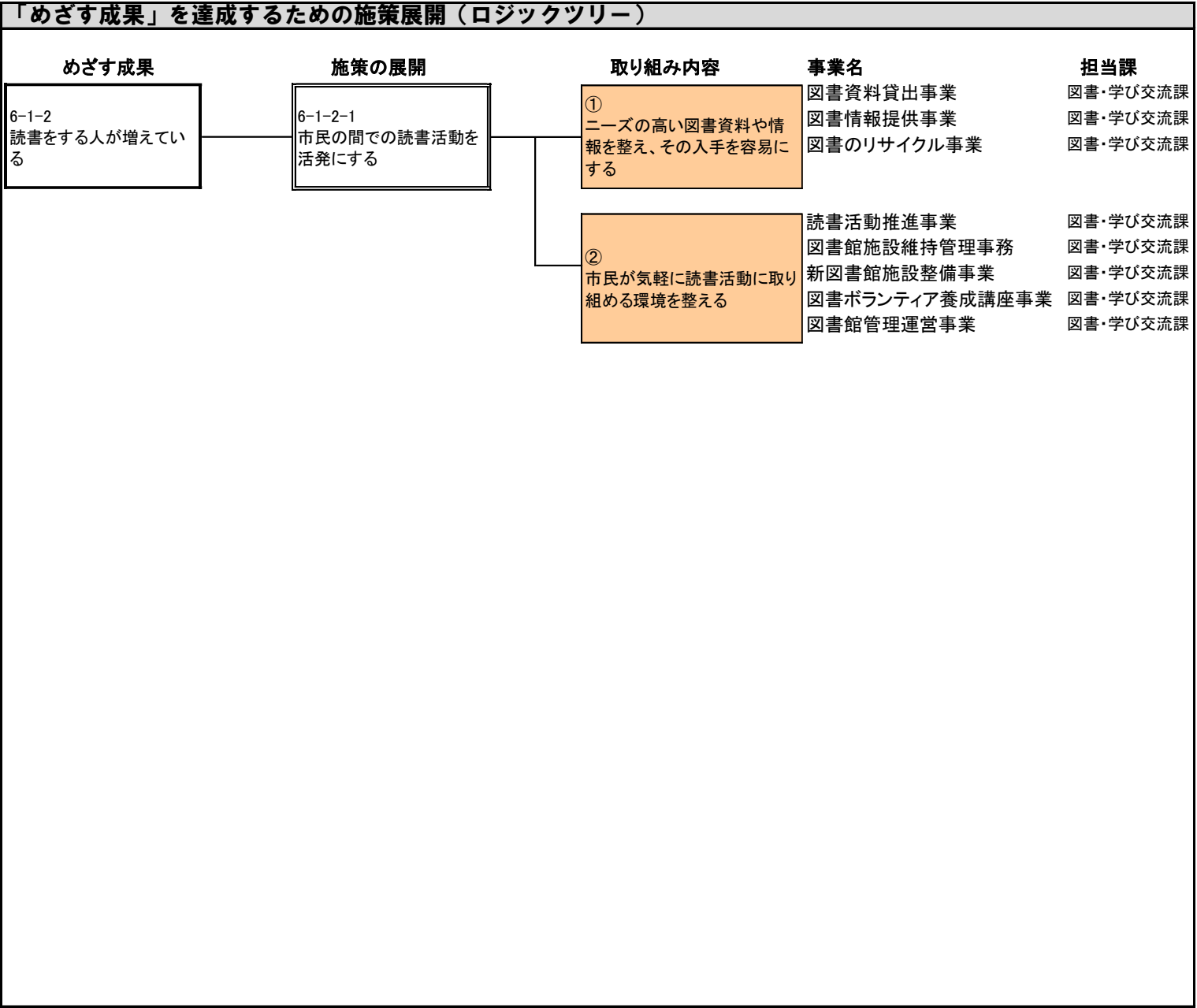


平成28年度「めざす成果」の達成に向けた進行管理シート		
6－1－2 読書をする人が増えている		
総合計画体系	健康領域・基本目標	社会の健康・豊かな心を育むまち
	個別目標	いつでも学べる場と機会を充実する
	めざす成果	読書をする人が増えている 読書活動の環境が整い、読書をする人が増えています。



所 管 部	文化スポーツ部
平成27年度までの 取り組み内容	【市民の間での読書活動を活発にする】 ・利用者の読書・調査・研究ニーズに対応するため、多種多様な図書資料等を収集・保存し、偏りのない充実した蔵書構成に努めました。 ・利用者の利便性向上のため、平成26年度から図書の有料宅配サービスを開始したところ、平成27年度は37件（83冊）の利用がありました。 ・家庭での読書（家読）推進事業として、夏休み期間に、小学生とその保護者を対象とした図書館・図書室スタンプラリーや、中高校生を対象とした「ビブリオバトル入門講座」等を実施しました。 ・小さいうちから家庭での読書習慣を形成する機会を提供するため、こども読書力向上プランに基づき、おはなし会やブックスタートなどを実施しました。 ・読み聞かせやストーリーテリング等、読書活動を推進するボランティアの養成講座を実施し、ボランティアの育成に努めました。 ・文化創造拠点への図書館移転に向け、保留床の取得や新図書館用図書の購入のほか、指定管理者との協議を行いました。
構成事業に対する考え方 （事業の量及び実施手法）	・貸出冊数やリクエスト件数の増加、多様化するレファレンス業務に対応するため、蔵書をさらに充実させるとともに、専門的なニーズに対応できる人材の確保を進める必要があります。 ・家読をさらに推進するため、定期的にブックリストを更新するなど情報発信に努めるとともに、学校等との連携を進める必要があります。 ・市民の多様なニーズに応えるため、情報収集に努め、講座の内容等を工夫します。また、ボランティア講座受講後、実際に活動できる環境を整える必要があります。 ・文化創造拠点への図書館移転に際しては、より快適な読書環境の実現に向け、機能充実を図る必要があります。また、新図書館の蔵書構成や新たなサービス等について検討を重ねます。
今後の展開方針	注）例年どおりの事業展開を予定している事務事業については、特段の記載をしません。
新規事業の立案	・中央林間地区街づくりビジョンに基づき、東急中央林間ビル内に新たに図書施設の整備を行います。 （該当する事務事業） ・（仮称）中央林間図書館施設整備事業
既存事業の拡充	（該当する事務事業）
事業の廃止・縮減	・平成28年11月3日、図書館の文化創造拠点への移転に伴い、事業を廃止します。 （該当する事務事業） ・図書館施設維持管理事務 ・新図書館施設整備事業
事業の効率化	・移転後の新図書館を指定管理者による運営とすることで、民間事業者の知識、能力、経験を生かした健康図書館としてのサービスの充実を図ります。 （該当する事務事業） ・図書資料貸出事業 ・図書情報提供事業 ・図書のリサイクル事業 ・図書ボランティア養成講座事業
その他見直し	・子どもの読書活動を推進するため、行政、指定管理者、関係団体等と連携して、取り組みを進めていきます。 （該当する事務事業） ・読書活動推進事業

成果を計る 主な指標	指標の名称	前期基本計画			後期基本計画			
		計画策定時 （H20）	最終目標値 （H25）	実績値 （H25）	実績値 （H26）	実績値 （H27）	中間目標値 （H28）	最終目標値 （H30）
	① 市民1人あたりの年間図書貸出冊数	3.90冊	4.00冊	4.55冊	4.57冊	4.68冊	5.15冊	5.87冊
	② 図書館や保育所などのおはなし会の延べ参加者数			2,119人	1,994人	1,850人	2,340人	2,580人